平成16年12月28日

各　位

会 社 名　**ミサワホームホールディングス株式会社**
代表者名　代表取締役　水　谷　和　生
（コード番号　1722　東証・大証・名証第1部）
問合せ先　常務執行役員 経営戦略部長　酒　井　征　二
（TEL. 03-3345-1111）

# 当社子会社（ミサワホーム中国株式会社）に関するお知らせ

当社子会社であるミサワホーム中国株式会社が下記事項について公表いたしましたのでお知らせいたします。

1.株式会社産業再生機構による支援決定について

2.厚生年金基金解散に関するお知らせ

3.特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

以　上

平成 16 年 12 月 28 日

各　　位

会 社 名　ミサワホーム中国株式会社
代表者名　代表取締役社長　正 野　隆 士
（コード番号 1728 ＪＡＳＤＡＱ）
問合せ先
役職･氏名　取締役経営推進部長 後藤 重幸
（TEL．086－245－3204）

# 株式会社 産業再生機構による支援決定について

当社は、本日開催の取締役会で、「事業再生計画」を承認の上、当社及び当社の所属するミサワホームグループの中核会社であるミサワホームホールディングス株式会社（代表取締役：水谷　和生）ほか関係会社 29 社と、株式会社ユーエフジェイ銀行（頭取：沖原　隆宗、以下「ＵＦＪ銀行」）の連名で、本日、株式会社産業再生機構（代表取締役：斉藤　惇、以下「産業再生機構」）に支援の申し込みを行い、支援決定の通知を受けましたのでお知らせいたします。

この度の産業再生機構への支援申込につきましては、財務体質を飛躍的に改善し、早期の再生を確実なものとするためにミサワホームグループ一体として行うものであります。「事業再生計画」は本業であるコア事業（住宅及び住宅関連事業）に完全に集中するものであり、当社をはじめとした販売会社の営業支援体制の強化を柱にしたものです。

また、当社においては株主の皆様へ減資、取引金融機関様へ債権放棄をお願いする予定はございません。

今後は、ミサワホームグループ一丸となって「事業再生計画」の確実な達成に向けて努力してまいります。その中で当社も中核である住宅事業の一社として計画達成に向けて全社をあげて推進してまいりますので、ご高配、ご支援を賜りますようお願いいたします。

記

･業績に与える影響

当社は、事業計画の見直しを実施したことにより、平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日）の連結決算、単独決算の業績予想を修正することにいたしました。詳細につきましては、本日適時開示いたします「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以　上

平成 16 年 12 月 28 日

各　　位

会 社 名　ミサワホーム中国株式会社
代表者名　代表取締役社長　正 野　隆 士
（コード番号 1728　ＪＡＳＤＡＱ）
問合せ先
役職･氏名　取締役経営推進部長 後藤 重幸
（TEL．086－245－3204）

# 厚生年金基金解散に関するお知らせ

当社及び当社グループ会社が加入するミサワホーム厚生年金基金は、平成 16 年 12 月 21 日に厚生労働大臣より解散が認可され、同日付で解散いたしましたのでお知らせいたします。

これにより、平成 17 年 3 月期に厚生年金基金解散に伴う特別利益として連結 1,627 百万円、単独 1,617 百万円を計上いたします。

なお、平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日）の連結決算、単独決算の業績予想につきましては、本日適時開示いたします「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以　上

平成 16 年 12 月 28 日

各　　位

会 社 名　ミサワホーム中国株式会社
代表者名　代表取締役社長　正 野　隆 士
（コード番号 1728 ＪＡＳＤＡＱ）
問合せ先
役職･氏名　取締役経営推進部長 後藤 重幸
（TEL．086－245－3204）

# 特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 11 月 19 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

１．当期の業績予想の修正（平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 3 月 31 日）

(1) 連結　（単位：百万円）

| | 売　上　高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|---|---|---|
| 前　回　発　表　予　想（A） | 36,050 | 740 | 185 |
| 今　回　修　正　予　想（B） | 34,180 | 500 | 125 |
| 増　　減　　額（B－A） | △1,870 | △240 | △60 |
| 増　　減　　率（%） | △5.2 | △32.4 | △32.4 |
| (ご参考)前期実績(平成16年3月期) | 35,595 | 1,068 | 389 |

(2) 単独　（単位：百万円）

| | 売　上　高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|---|---|---|
| 前　回　発　表　予　想（A） | 35,810 | 660 | 140 |
| 今　回　修　正　予　想（B） | 33,940 | 420 | 80 |
| 増　　減　　額（B－A） | △1,870 | △240 | △60 |
| 増　　減　　率（%） | △5.2 | △36.4 | △42.9 |
| (ご参考)前期実績(平成16年3月期) | 35,326 | 981 | 340 |

２．修正の理由

住宅業界を取り巻く環境には依然厳しいものがあり、当期後半における当社を取り巻く市場環境の悪化を想定し、前回公表の通期業績予想を修正することにいたしました。

また、グループ全体の財務体質改善における一連の措置により、販売用不動産の販売価格の見直し及び固定資産の減損会計導入を見据えた処理などにより、連結 1,765 百万円（単独 1,765 百万円）の特別損失を計上いたします。

なお、ミサワホーム厚生年金基金の解散が許可されたことに伴い、退職給付引当金戻入益として、連結 1,627 百万円（単独 1,617 百万円）を特別利益に計上いたします。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上